

## 関連イベント

### 連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル 想像界の奥へ」第1回

#### 公開座談会「自然界から想像／創造する～Creature Creators' Symposium」

- 会場** ナレッジシアター(グランフロント大阪北館4階)  
**日時** 9月23日(月・祝)13:30～16:30 (開場 13:00)  
**司会** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
**登壇者** 五十嵐大介(漫画家)  
長谷川朋広(ゲームクリエイター)  
西田清徳(海遊館 館長)  
**定員** 360名(中学生以上)  
**参加方法** 要事前申込／参加無料  
**内容** 人類は、この世のキワにいるかもしれない不思議な生きものを、自然界の観察にもとづいて思い描いてきました。漫画家、ゲームクリエイター、水族館館長、比較文学者という異色の顔ぶれがそろったこの座談会では、人が自然との関わりにおいて想像してきたクリーチャー像を振り返りつつ、想像界の幻獣が仮想世界の現実となり、人と機械が一体化し、遺伝子操作で合成生物が生まれゆくこれからの時代に、人間の想像／創造力がどこに向かうのかを展望します。

### 連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル 想像界の奥へ」第2回

#### カフェ・ラボ対談「常ならざる音—見えないものを展示する」

- 会場** CAFE Lab. (グランフロント大阪北館ナレッジキャピタル1階)  
**日時** 10月8日(火) 19:00～20:30(開場 18:30)[予定]  
**登壇者** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
辻邦浩(国立民族学博物館 特別客員教授)  
**定員** 50名(中学生以上)  
**参加方法** 要事前申込／要別途ドリンク代 500円  
**内容** 音響空間デザインをプロデュースしてきた辻氏と特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」実行委員長の山中が、聴覚と想像力の密接な関係について対談します。特別展に設けた異音体験コーナーの制作裏話なども。

### 連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル 想像界の奥へ」第3回

#### みんなく特別展示ツアー 特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」見学ツアー

- 会場** 国立民族学博物館 特別展示場ほか  
**日時** 10月20日(日) 11:00～12:30(受付開始 10:30)  
**講師** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
**定員** 30名(中学生以上)  
**参加方法** 要事前申込／要特別展示観覧券(団体料金)  
**内容** 実行委員長が特別展の見どころ、裏話を熱く語りながらご案内します。

## 研究公演「能と怪異(あやかし)」

**会場** 国立民族学博物館 本館 1 階エントランスホール  
**日時** 9 月 29 日(日)12:30～16:00 (開場 12:00)  
**司会** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
**解説** 吉田憲司(国立民族学博物館 館長)  
**出演** 辰巳満次郎(能楽師)  
**定員** 250 名(当日先着順)  
**参加方法** 事前申込不要／参加無料  
**内容** 能楽師、辰巳満次郎氏とアフリカの仮面結社を研究してきた吉田憲司館長が、異界と現界のはざまに立ち現れる精霊・鬼・霊獣などの存在を具現する面と演者について対談します。後半は能「土蜘蛛(つちぐも)」の公演。時空・次元を超越した能の世界を、黒川紀章による建築空間で体験するまたとない機会です。  
 同時開催中の特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」に出品される辰巳家伝来の貴重な面も、ぜひあわせてご覧ください。



「土蜘蛛」に使用する  
顰(しかみ)の能面

## 友の会講演会「対談 幻獣！—そこに“在る”不思議な生きもの」

**会場** 国立民族学博物館 本館 2 階第 5 セミナー室  
**日時** 10 月 12 日(土)13:30～14:40 (見学会 14:50～15:30)  
**出演者** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
 湯本豪一(妖怪・幻獣研究者)  
**定員** 96 名(当日先着順)  
**参加方法** 事前申込不要／みんぱく友の会会員：無料(会員証提示)、一般：500 円  
 ※見学会に参加の方は要会員証もしくは要特別展示観覧券  
**お問い合わせ** 国立民族学博物館友の会(千里文化財団内)06-6877-8893  
**内容** 人類は、この世のキワにいるかもしれない異形のものや妖怪の類の姿を、心の内に生み出してきました。その中には、人魚や河童など、実在すると考えられていた不思議な生きものもいます。こうした幻獣は人びとの好奇心を刺激し、その存在の物的証拠が時に捏造されたりもしました。「物」としての幻獣は拝められたり、薬とされたり、見世物とされてきました。幻獣や妖怪など“不思議”を追い求め、集めてきた湯本豪一氏を招いて、幻獣の世界に分け入ります。

## 体験セミナー「もののけ怪道をゆく—稲生物怪録と小泉八雲を歩く」

**訪問先** 広島県三次市・島根県松江市(1泊2日)  
**日時** 10 月 13 日(日)～14 日(月・祝)  
**講師** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
 植田千佳穂(三次市学芸アドバイザー)  
 小泉凡(小泉八雲記念館 館長)  
**定員** 25 名(予定)  
**参加方法** 要事前申込／要別途費用  
**お問い合わせ** 国立民族学博物館友の会(千里文化財団内)06-6877-8893  
**内容** 日本の「怪異」を求めて、広島県三次市と島根県松江市を訪ねます。三次市は江戸時代中期に生まれた怪異譚「稲生物怪録」の舞台であり、松江市は『怪談』の作者として知られる小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)が日本の霊性に魅了され、不思議な話の数々を蒐集した土地です。行程中、2019 年 4 月に開館した三次もののけミュージアムも見学。この博物館には湯本豪一氏が蒐集した約 5000 点の妖怪資料も寄贈されています。  
 不安や恐怖の心が生み出した人間の想像力の産物「怪異」。物語の舞台を歩きながら、その精神的な営みとともに、怪異が生まれる背景をさぐります。

みんなくゼミナール

第 496 回 「珍獣・霊獣・幻獣・怪獣—人はなぜモンスターを想像するのか？」

- 会場** 国立民族学博物館 本館セミナー室  
**日時** 10月19日(土) 13:30~15:00 (13:00 開場)  
**講師** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
**定員** 200名  
**参加方法** 事前申込不要／参加無料  
 ※12:30 から本館 1 階案内所前にて参加券を配布します。  
**内容** 世界各地の人びとが創りだしてきた不思議な生きものたち。水に潜み、天に羽ばたき、地を巡る、想像界の生物多様性を探求するとともに、人類に普遍的な心の動きやイメージの作られ方について考えます。



ソロモンと百獣、ニザーミー『五部作』写本口絵(イラン)

ワークショップ

KAKENHI ひらめき☆ときめきサイエンス ワークショップ

「ゴミから生まれる異音獣！不思議なケモノはどんな音？不思議な音は何に見える？」

- 会場** 国立民族学博物館 特別展示館休憩所(BF)、特別展示場、特別展示館前、前庭  
**日時** 11月2日(土) 13:30~16:30 (受付開始 13:00)  
 「不思議なケモノはどんな音？」  
 11月3日(日・祝) 13:30~16:10 (受付開始 13:00)  
 「不思議な音は何に見える？」  
**講師** 渡辺亮(パーカッショニスト)  
 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
**定員** 各日 24名  
**対象** 小学5年生・6年生(11月2日のプログラムは視覚障害のある人も積極的に受け入れます)  
**参加方法** 要事前申込(応募者多数の場合は抽選)／参加無料  
 ※保護者の方が見学される場合は、特別展示観覧券が必要です。  
 ※応募フォームまたは往復ハガキでご応募ください。  
 ※応募受付:8月29日(木)~9月30日(月)  
**内容** 「不思議なケモノはどんな音？」では、世界各地の幻獣、怪獣を描いた展示物を観賞し、そのイメージを音にします。パーカッショニスト渡辺亮氏の指導のもとに廃材から楽器を作り、みんなで演奏します。「不思議な音は何に見える？」では、渡辺亮氏の演奏を聞き、その不思議な音から想像をふくらませて、クリーチャーやモンスター、精霊の衣装をつくり変身します。思い思いの異音獣に変身して、みんなで大行進します。



イメージ



イメージ

**みんなく映画会／みんなくワールドシネマ「ワンダーストラック」**

- 会場** 国立民族学博物館 本館セミナー室  
**日時** 11月9日(土)13:30～16:00 (開場 13:00)  
**司会** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
**定員** 先着 200名  
**参加方法** 事前申込不要／要展示観覧券  
※11:00から本館1階案内所前にて参加券を配布します。
- 内容** 「ヒューゴの不思議な発明」の原作者ブライアン・セルズニックの同名ベストセラー小説をトッド・ヘインズ監督が実写映画化。2つの異なる時代を舞台に、それぞれ大切なものを探す2人の子どもの旅を独創的なタッチで描き出す。2人の物語は、ニューヨークの自然史博物館を舞台に、不思議に絡み合い始める。映画を通して、博物館の原点を振り返り、驚きと好奇心の場であるミュージアムという空間について考えます。

**人文機構シンポジウム「この世のキワ—自然と超自然のはざま」**

- 会場** ナレッジキャピタル、カンファレンスルーム タワーC C-01(グランフロント大阪北館8階)  
**日時** 11月23日(土・祝)13:00～16:30(予定)  
**登壇者** ジル・クック(大英博物館 学芸員)  
山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
黒川正剛(太成学院大学 教授)  
木場貴俊(国際日本文化研究センター プロジェクト研究員)  
小松和彦(国際日本文化研究センター 所長)
- 定員** 200名  
**参加方法** 要事前申込／参加無料  
**お問い合わせ** 事務局(千里文化財団内)06-6877-8893
- 内容** 近世以前、ヨーロッパや中東においては、人魚、一角獣といった不可思議だが実在するかもしれない生物や現象は、「驚異」として自然誌の知識の一部とされました。また、東アジアにおいては、奇怪な現象や異様な生物・物体の説明として「怪異」という概念が作りあげられてきました。自然界のどのような現象が「驚異」や「怪異」という超常的なものとして認識され、どのような言説や視覚表象物として表れたのか、背景にどのような自然観があるのか、なぜ特定の事象が広く、永く伝承され続けるのかといった点に注目し、西洋近代的な nature としての「自然」という概念そのものを、学際的・多角的視点から捉えなおします。



## みんなくウィークエンド・サロン—研究者と話そう

研究者が展示場に登場し、展示や研究についてお話しします。

### 「特別展『驚異と怪異—想像界の生きものたち』」

- 会場** 国立民族学博物館 特別展示館  
**日時** 9月1日(日) 14:30~15:15  
**講師** 山中由里子(国立民族学博物館 教授)  
**参加方法** 申込不要／要特別展示観覧券  
**内容** なぜ人類は、この世のキワにいるかもしれない不思議な生きものを思い描き形にしてきたのでしょうか？水に潜み、天に羽ばたき、地を巡る、世界の霊獣・幻獣・怪獣が一堂に会した特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」を実行委員長の山中がご案内します。



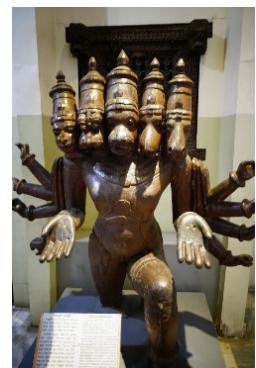
特別展ポスター撮影の裏話などが聞けるかも？

### 「特別展『驚異と怪異—想像界の生きものたち』を巡って」

- 会場** 国立民族学博物館 特別展示館  
**日時** 10月6日(日) 14:30~15:00  
**講師** 笹原亮二(国立民族学博物館 教授)  
**参加方法** 申込不要／要特別展示観覧券  
**内容** 特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」の展示内容にちなんだ日本の民俗文化にかかわる話題を紹介します。

### 「インドにおける異形の神々」

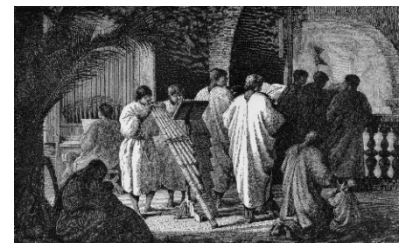
- 会場** 国立民族学博物館 本館ナビひろば  
**日時** 10月20日(日) 14:30~15:00  
**講師** 松尾瑞穂(国立民族学博物館 准教授)  
**参加方法** 申込不要／要展示観覧券  
**内容** インドのヒンドゥー教の神々は、時に恐ろしく時に奇妙な異形の姿を示しています。動物との合体像や多面多臂像、血を滴らせた恐ろしい女神像…。また、さまざまな動物も聖獣として信仰されてきました。これらの神々を通して、インドにおける異形の具像表現を見ていきます。



5つの顔を持つハヌマーン像

### 「『旧世界』の驚異—キリスト教宣教とアメリカ先住民」

- 会場** 国立民族学博物館 本館ナビひろば  
**日時** 11月10日(日) 14:30~15:00  
**講師** 齋藤晃(国立民族学博物館 教授)  
**参加方法** 申込不要／要展示観覧券  
**内容** 15世紀末のアメリカの「発見」はヨーロッパ人には未知の世界を開示する驚異でした。しかし、先住民にとっても「旧世界」は驚異に他なりません。ヨーロッパ文化に接した先住民の驚嘆が、彼らのキリスト教改宗とどのように結びついてきたかを説明します。



先住民による教会音楽の演奏

## 館外イベント

## 令和元年度 斎宮歴史博物館歴史講座 ー第2回ー

## 「めでたい!?めでたくない!?世界の人魚」

会 場 斎宮歴史博物館 講堂(三重県多気郡明和町竹川 503)

日 時 9月7日(土) 13:30~15:30

講 師 山中由里子(国立民族学博物館 教授)

定 員 125名

参加方法 要事前申込/参加無料

お問い合わせ 斎宮歴史博物館 0596-52-3800(代表)

<http://www.pref.mie.lg.jp/TOPICS/m0014100133.htm>

内 容 半人半魚の幻獣は古くから水の神の信仰と結びつき、さまざまなかたちで描かれてきました。本講座では特に「人魚のミイラ」に注目し、民間信仰、見世物文化、博物学、世界経済史などのさまざまな観点から、近世の日本と世界のつながりについてお話しします。人びとが人魚のミイラに求めたのは、功德、娯楽、知識、それともお金か？

## 民博夜話「ヒュードロドロ・・・・この世ならざるものの出現にともなう音」

会 場 吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷(大阪府吹田市南高浜町 6-21)

日 時 9月13日(金) 18:30~20:30

出 演 山中由里子(国立民族学博物館 教授)

桂九雀(落語家)

定 員 50名

参加方法 要事前申込/参加費 500円

お問い合わせ 吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷 06-4860-9731

内 容 「天狗倒し」、「小豆洗い」など、民間伝承における怪異は「異音」として語られることが多くあります。また、日本の伝統芸能では、この世ならざるものの出現にともなう音が効果音として形式化されています。桂九雀さんによる落語「質屋蔵」のお噺とお囃子をお楽しみいただいた後、想像力を刺激する音の役割について対談します。



特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」  
広報用画像リスト



【1】特別展チラシ



【2】特別展エンブレム



【3】「異類の行進(マーチ)」(部分)



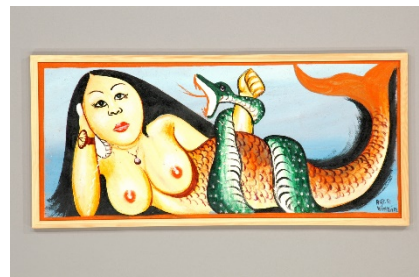
【4】人魚のミイラ



【5】ろくろ首のミイラ



【6】人形魚の引き札(江戸後期、日本)



【7】絵画「セイレーンと蛇」(コンゴ民主共和国)



特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」  
広報用画像リスト



【8】仮面(悪魔) (メキシコ)



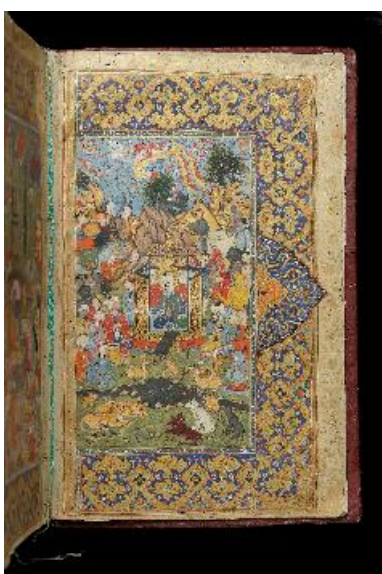
【9】飾り板(魚足王) (ナイジェリア)



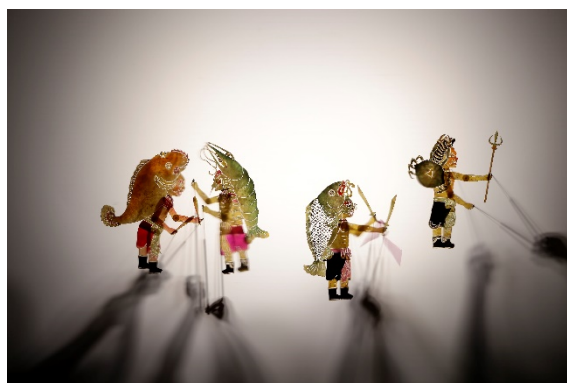
【10】仮面(クモ) (メキシコ)



【11】彫像「セドゥナ」(カナダ)



【12】ソロモンと百獣、ニザーミー「ハムザ(五部作)」  
写本口絵 (イラン)



【13】影絵人形 (中国)



特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」  
広報用画像リスト



【14】アメリカワシミズクのカチーナ人形  
(アメリカ合衆国)



【15】彫像(鳥人) (リベリア)



【16】ヴェヒガンテ衣装 (プエルトリコ)



【17】トゥピラク (グリーンランド)



【18】女性用 前掛け (中国)



【19】首長人形(大天使) (ペルー)

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、総務課広報係まで次頁申込用紙にてお申し込みください。

資料名につきましては、展示場での表記と異なる場合がございます。

## 特別展「驚異と怪異—想像界の生きものたち」 広報用画像利用申込用紙

〔メールでお申し込みの場合〕 [koho@minpaku.ac.jp](mailto:koho@minpaku.ac.jp)

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	
年	月
日	

【プレゼント用招待券】（ご希望の場合はどちらかにチェックを入れてください）

3組6枚       5組10枚

※チケット発送先が上記所在地と異なる場合は、下記にご記入ください。

【広報に関するお願い】

■ 写真使用に関するお願い、注意事項

・クレジットには次のとおり記載してください。

【3】 ©五十嵐大介 2019

【4】 ライデン国立民族学博物館 Collection Nationaal Museum van Wereldculturen. Coll.no. RV-360-10410

【5】 ライデン国立民族学博物館 Collection Nationaal Museum van Wereldculturen. Coll.no. RV-360-4740

【6】 【7】 国立民族学博物館蔵

【8】 ~ 【19】 国立民族学博物館蔵 撮影：大道雪代

・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。

・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

■ 本館の基本情報等の確認のため、メールまたはFAXにて、掲載記事、番組内容の原稿等を下記連絡先までお送り願います。

■ お手数ですが、掲載紙・誌または録画媒体を2部お送りください。